

- ▶ 本県では、素材生産に加え、木材加工技術や木材供給システム体制は充実しているものの、産地としての認知度や材料としての評価は、全国的に見てもまだまだ低い状況にあり、都市部の企業等の需要側から選ばれる産地づくりが課題となっている。
- ▶ このため、令和5年度は、更なる木材利用の連携強化を図るため、川崎市が主宰する川崎市木材利用促進フォーラムの29自治体が参加する行政間の情報の共有化を目的とした「行政部会」に本県も参加し、川崎市における宮崎県産材に関する取組を紹介するなど積極的なアピールを行った。
- ▶ また、都市部の企業を対象に、宮崎県産材についてより理解を深めてもらうため、みやざき材産地見学ツアー（産地見学会）を開催した。

□ 事業内容

1 都市との連携による「みやざき材」利活用推進事業

- ・ 都市部における木造・木質化のニーズに応える体制作りを目指し、本県の有する木材加工技術や木材供給システムをベースに、都市部の企業とのサプライチェーンを構築するとともに、川崎市の木材利用促進フォーラムとの連携など、都市部における更なる県産材の利活用の推進を図る。

【事業費】 4,927千円（うち譲与税 2,953千円）

- 【実績】
- ・ 川崎市の木材イベントへ出展、木製遊具の貸与
 - ・ 県産材を使用した新製品開発支援
 - ・ 都市部企業を対象とした産地見学会の開催
 - ・ 都市部企業と連携したイベント出展、展示

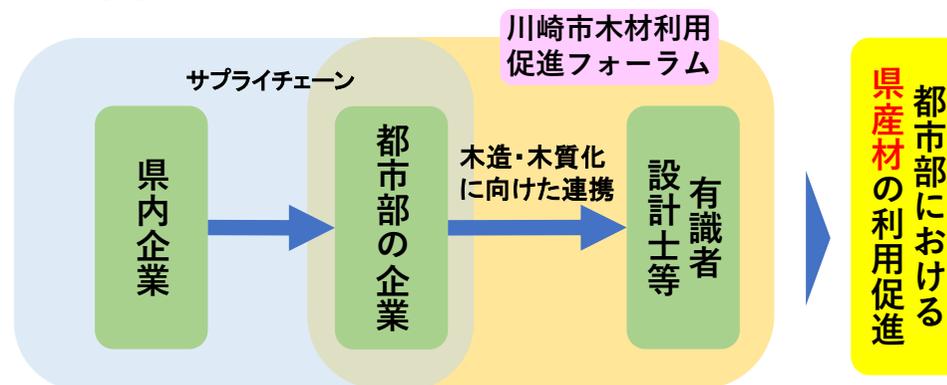


（産地見学会の開催）



（川崎市木材イベント出展）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 県産材の販路拡大に向け、県産材の利用に関する協定締結企業と連携したイベント出展
- ・ 新たな需要として、付加価値の高い商品の販売に向けた取組の支援

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より